

日本語学会第 148 回大会 プログラム

会 長
大会運営委員長
大会実行委員長

梶 茂樹
青木 博史
間宮 厚司

期 日：2014年6月7日（土）・8日（日）

会 場：法政大学市ヶ谷キャンパス 〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

Tel：03-3264-9752（日本文学科共同研究室）

Fax：03-3264-9752（日本文学科 尾谷昌則宛）

E-mail：lsj148@yahoo.co.jp

共 催：法政大学文学部

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。

※キャンパス内は指定の場所以外での喫煙は禁止されています。

.....

— 第1日（6月7日） —

午前中	評議員会 (評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。)	58年館5階856教室
12:00—	受付・大会予稿集販売	58年館1階ロビー
13:00—17:40	口頭発表（詳細は2-3頁にあります。)	55・58年館6階, 7階
18:00—20:00	懇親会	富士見坂校舎1階 食堂

— 第2日（6月8日） —

9:30—	受付・大会予稿集販売	58年館1階ロビー
10:00—12:00	ワークショップ（詳細は4頁にあります。)	外濠校舎4階 S406, S407教室
11:30—12:50	ポスター発表（詳細は4頁にあります。)	外濠校舎7階 薩埵ホールロビー
13:00—13:40	会長挨拶, 開催校挨拶（田中優子 法政大学総長） 日本語学会学会賞授賞式, 会員総会	外濠校舎薩埵ホール
13:40—16:50	公開シンポジウム 「過去のコミュニケーションを復元する —書き言葉と話し言葉をめぐる三都物語— 司会：尾谷 昌則（法政大学） 「話し言葉を書く, 書き言葉を視る——江戸人たちの言葉の世界」 田中 優子（法政大学）[S-1] 「1800年前後のベルリンにおける標準文章語と方言の混交——緩衝 材としての「日常語」」 高田 博行（学習院大学）[S-2] 「「話された書き言葉」と「書かれた話し言葉」——近代英語期ロン ドンの言語意識」 椎名 美智（法政大学）[S-3] 「過去のコミュニケーションを詮索する快樂——歴史語用論という 箱眼鏡」 滝浦 真人（放送大学）[S-4]	外濠校舎薩埵ホール

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（6月7日(土) 13:00-17:40)

	A会場（571教室） 司会：[1-2] 小野寺 典子 [3-4] 鈴木 亮子 [5-7] 大堀 壽夫	B会場（572教室） 司会：[1-2] 芝垣 亮介 [3-4] 三宅 知宏 [5-7] 酒井 弘
13:00-13:30	[A-1] 京野 千穂, 堀江 薫 1 人称心理文の非ノダ文/ノダ文に対する聞き手の認知—話者に属する情報について聞き手に反応を求める場合—	[B-1] Natsuno Aoki The Effect of the Choice of the Objects in Japanese Locative Alternation
13:40-14:10	[A-2] 林 青樺 〈許可〉・〈禁止〉を表わす日本語の可能表現について	[B-2] 平沢 慎也 will be P 構文
14:20-14:50	[A-3] 盛田 有貴 アイロニー発話の誤解と乖離的態度の解釈	[B-3] 程 莉 VN型漢語動詞に対する検討 —「N+を+VNする」型表現を例に—
15:00-15:30	[A-4] 高 雅妃 韓国語・英語副詞の心的距離分析	[B-4] 東寺 祐亮 ホドを用いた因果表現の解釈と構造
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 高島 彬 ガ格テアル構文を動機づける「発見性」について	[B-5] Michael Patrick Mansbridge, 熊 可欣, 玉岡 賀津雄 Chinese relative clause processing by native Chinese speakers: An eye-tracking study
16:30-17:00	[A-6] 李 国玲 日中改善要求表現に見られる事態認識の様式	[B-6] 矢野 雅貴, 立山 憂, 坂本 勉 日本語分裂文のERP研究 —使役形を用いた検討—
17:10-17:40	[A-7] Holoborodko Alexandra Emotional discourse analysis: an attempt at contrastive analysis of Japanese literary translations	[B-7] 上田 由紀子, 橋本 洋輔, 中村 和浩, 内堀 朝子 fMRIを使用した日本語の格助詞の処理に関わる脳活動報告

	C会場（573教室） 司会：[1-2] 北原 久嗣 [3-4] 内堀 朝子 [5-7] 宮本 陽一	D会場（574教室） 司会：[1-2] 本間 猛 [3-4] 田中 伸一 [5-7] 松岡 和美
13:00-13:30	[C-1] 坂本 祐太 日本語の空項に関する研究：不動要素の観点から	[D-1] 高橋 康徳 上海語変調におけるピッチ下降の音韻特性：実験音韻論的考察
13:40-14:10	[C-2] 山口 真史 アスペクトを用いた日本語における結果構文の統語的研究	[D-2] 三村 竜之 アイスランド語ストレスアクセント試論
14:20-14:50	[C-3] 大高 茜 補文からの繰り上げ —一致に基づくアプローチ vs. labeling algorithm に基づくアプローチ	[D-3] 松浦 年男 日本語の複合語におけるアクセント移動は言語構造によるものか?
15:00-15:30	[C-4] 向 明栄茂 日本語の引き剥がし構文と島の制約修復について	[D-4] 玉岡 賀津雄, 早川 杏子, Timothy John Vance Lexical-specific or rule-based <i>rendaku</i> by native Chinese and Korean speakers learning Japanese
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] Kaori Miura Toward a classification of <i>de</i> -phrases in Japanese	[D-5] 木戸 康人 統語的複合動詞の獲得 —CHILDESを使用した実証研究—
16:30-17:00	[C-6] Dónall P. Ó BAOILL, Hideki MAKI Puzzles with the subject position in Irish	[D-6] 遊佐 麻友子, 金 情浩, 小泉 政利 日本人英語学習者の文産出における主語動詞一致誘引
17:10-17:40	[C-7] Lina BAO, Shogo TOKUGAWA, Megumi HASEBE, Hideki MAKI On the absence of the wh-island effect in modern Inner Mongolian	[D-7] 鈴木 孝明 情報の流れが日本語のかき混ぜ文理解に与える影響：幼児と成人母語話者の比較

	E会場（877教室） 司会：[1-2] 下地 理則 [3-4] 青木 博史 [5-7] 張 麟声	F会場（561教室） 司会：[1-2] 塩原 朝子 [3-4] 千田 俊太郎 [5-7] 渡辺 己
13:00－13:30	[E-1] 廉田 浩 近代日本語書き言葉の主語標示助詞使い分け ―視覚準拠モデルによる各助詞使用頻度分布の解釈―	[F-1] 岩崎 加奈絵 ハワイ語「方向詞」に関する数的分布
13:40－14:10	[E-2] Fumikazu Niinuma Anticausatives and Ar-intransitives in Kesen	[F-2] 山本 恭裕 イロカノ語バギオ方言における移動動詞を含む動詞連続構文
14:20－14:50	[E-3] 一色 舞子 日本語の「-おく」における史的変遷	[F-3] Paul Julian SANTIAGO The search for the “Lost” Auxiliaries: Motion clauses and imperfective aspect in Kalanguya, Northern Philippines
15:00－15:30	[E-4] 衣畑 智秀 係り結びがもたらす疑問助詞の分布制約 ―日本語史と琉球語から―	[F-4] 長屋 尚典 タガログ語の pa- 形
15:30－15:50	(休憩)	(休憩)
15:50－16:20	[E-5] 笠井 陽介 スキーマを用いたノダの多義構造分析	[F-5] 大塚 行誠 アショー・チン語における人称標示と inverse marker <i>mǎ-</i>
16:30－17:00	[E-6] 長谷部 郁子 発話伝達のモーダル形式と日本語の授受動詞の周回的用法	[F-6] 大西 秀幸 ラワン語の再帰接辞 <i>-shì</i> に関する一考察
17:10－17:40	[E-7] 野元 裕樹 容認性判断実験に基づく日本語複数名詞の意味の考察	[F-7] 藤原 敬介 チャイレル語の系統再考

	G会場（562教室） 司会：[1-2] 佐久間 淳一 [3-4] 小林 正人 [5-7] 塚本 秀樹	H会場（564教室） 司会：[1-2] 河内 一博 [3-4] 中川 裕 [5-7] 佐々木 冠
13:00－13:30	[G-1] 日高 晋介 ウズベク語における欠如を表す形容詞派生接辞 <i>-siz</i> について	[H-1] 松尾 愛, イハープ・アハマド・エベード アラビア語の <i>al-maf'ūl li-'ajl-i-hi</i> (object of cause) の再考察
13:40－14:10	[G-2] 梅谷 博之 モンゴル語の否定小辞の自立度	[H-2] 阿部 優子 ベンデ語（タンザニア、バントゥ F12）の持続相標示 <i>sí-/syá-</i>
14:20－14:50	[G-3] 吉岡 乾 ブルシャスキー語の動詞の連体修飾構造	[H-3] 吉野 宏志 アッレ語の分析を通じた動詞枠付け言語の低位分類に関する一考察
15:00－15:30	[G-4] 山部 順治 オリア語の複合述語にかかる人称制限	[H-4] 宮川 創 コプト・エジプト語の他動詞の「前名詞形」の軽動詞性と文法化
15:30－15:50	(休憩)	(休憩)
15:50－16:20	[G-5] 山崎 雅人 アルタイ諸語における文法化の段階的分布 ―「知る」に由来する可能表現から―	[H-5] クレメンス・ポッペ 日本語動詞アクセントにおける活用形間対応制約の役割
16:30－17:00	[G-6] 黒島 規史 現代朝鮮語の「言いさし」における節の構造とモダリティの関係について	[H-6] 白田 理人 奄美喜界島小野津方言の一人称代名詞の複数形
17:10－17:40	[G-7] 浅尾 仁彦 接辞・接語・複合の左右非対称性：統一的理解に向けて	[H-7] 日高 俊夫 間接疑問文と「補文性」―佐賀方言の疑問標識を例に―

■ワークショップ (6月8日(日) 10:00-12:00)

外濠校舎 S406	[W-1] 名詞化とその周辺に存在する諸問題 —Malchukov (2006) の枠組みをもとにして— 企画：大西 秀幸, 司会：吉岡 乾, コメンテーター：風間 伸次郎
	[W-1-1] ウズベク語の動作名詞について 日高 晋介
	[W-1-2] ブルシャスキー語の希求法不定詞とは何か 吉岡 乾
	[W-1-3] ラワン語における名詞節+コピュラ構文 大西 秀幸
	[W-1-4] モンゴル語の形動詞接辞 -гч- 共時的な使用実態から 山田 洋平
	[W-1-5] ニヅフ語のゼロ名詞化について —間接疑問表現を中心に— 蔡 熙鏡
外濠校舎 S407	[W-2] 他動性の本質の解明 —日本語と世界諸言語の対照研究から見えてくるもの 企画：パルデシ・プラシャント, 司会：影山 太郎, コメンテーター：佐々木 冠
	[W-2-1] 日本語と世界諸言語の対照研究から見えてくるもの 桐生 和幸
	[W-2-2] 自他動詞の類型論：認知的な説明から頻度に基づく説明へ ナロック・ハイコ
	[W-2-3] 有対自他動詞の地理類型論的なデータベース：類型論的なパターン可視化および仮説の検証 パルデシ・プラシャント

■ポスター発表 (6月8日(日) 11:30-12:50)

外濠校舎7階 薩埵ホールロビー	[P-1] 時本 真吾 日英語における島の効果の実験的記述と比較
	[P-2] 花崗 悟 沖縄語首里方言の語頭声門破裂音の機能負担量
	[P-3] 西原 哲雄 語形成に関わる OCP 原則の役割について
	[P-4] 伊藤 さとみ 選択疑問文の分析～英語、中国語、日本語の比較から

《会場へのアクセス》

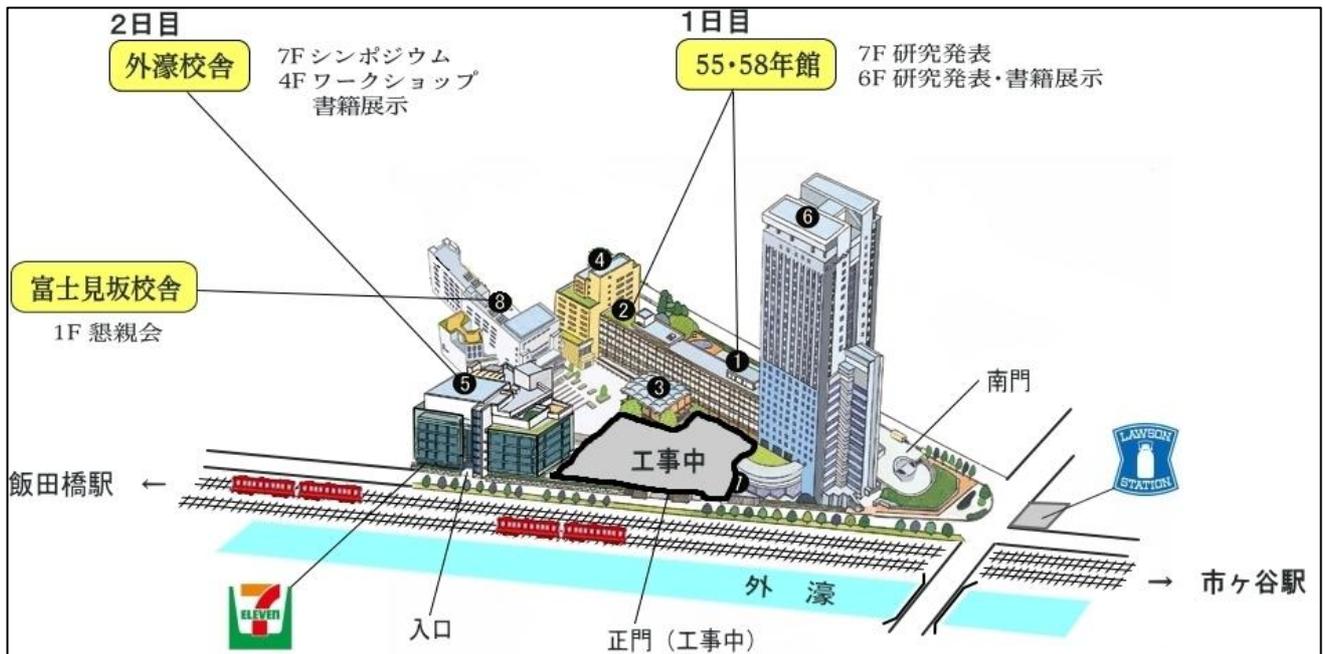
主なターミナルからの交通アクセス

東京駅	JR中央線快速 約4分	御茶ノ水駅	JR総武線 約4分	飯田橋駅	徒歩 約10分	市ヶ谷キャンパス
新宿駅	JR総武線 約10分			市ヶ谷駅	徒歩 約10分	
池袋駅	地下鉄有楽町線 約10分			飯田橋駅	徒歩 約10分	
渋谷駅	地下鉄半蔵門線 約6分	永田町駅	地下鉄有楽町線 約3分	市ヶ谷駅	徒歩 約10分	
上野駅	JR山手線 約4分	秋葉原駅	JR総武線 約6分	飯田橋駅	徒歩 約10分	

最寄り駅からのアクセス

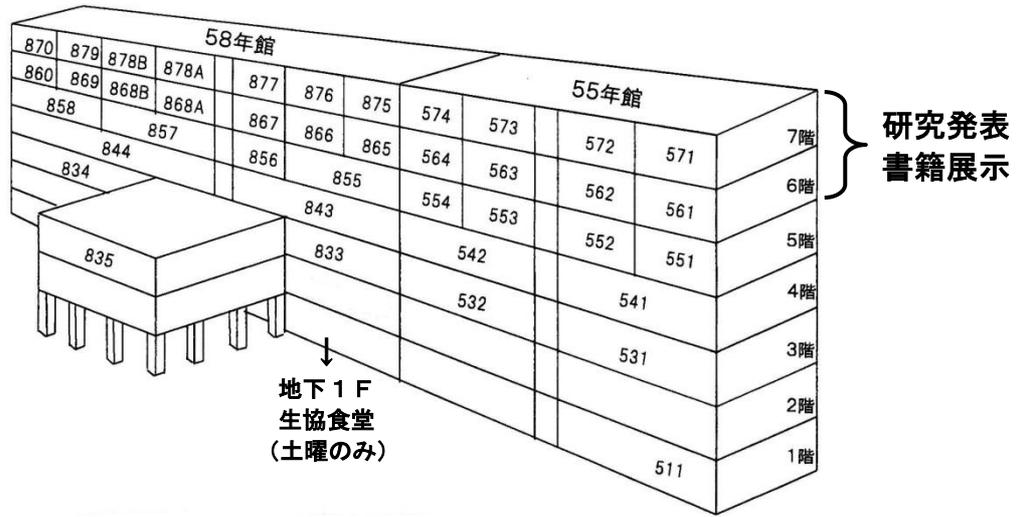


市ヶ谷キャンパス（富士見校地） 建物配置図



55・58年館（1日目会場）フロアマップ

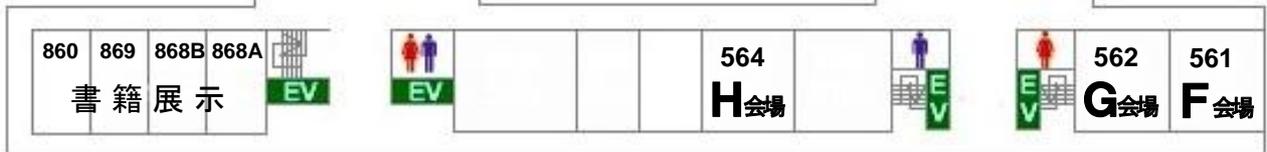
※懇親会会場は富士見坂校舎です。



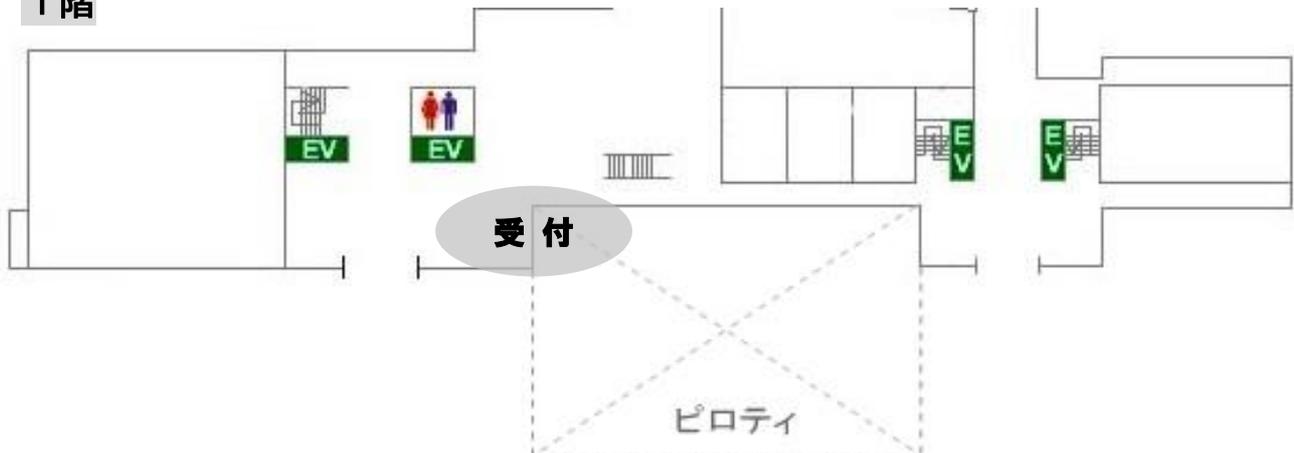
7階



6階



1階

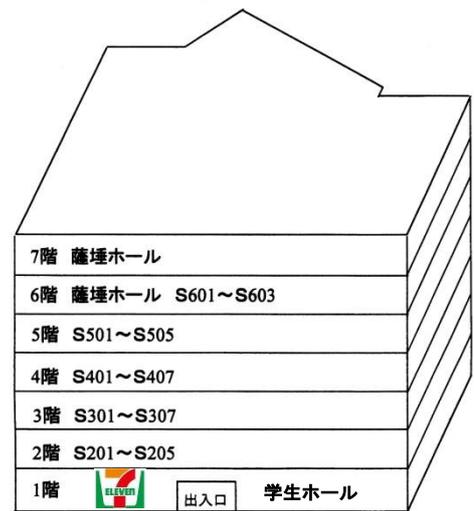


外濠校舎（2日目会場）フロアマップ

※受付は 58 年館 1 階ロビー
（1 日目と同じ場所）です。

ポスター発表・シンポジウム →

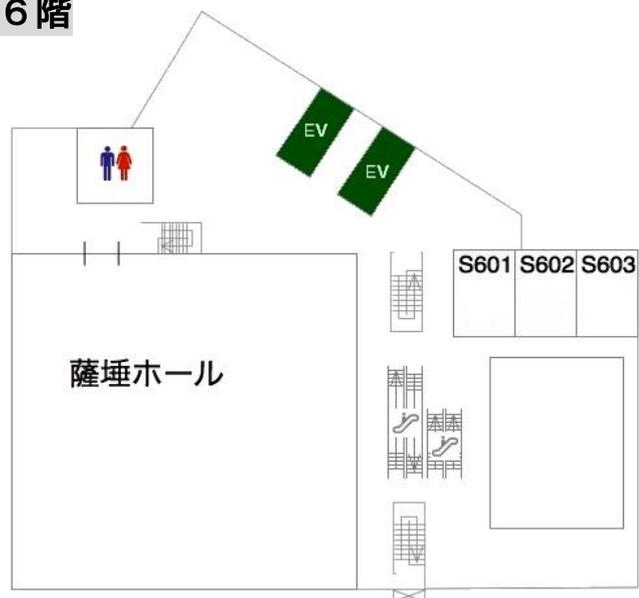
ワークショップ・書籍展示 →



7階



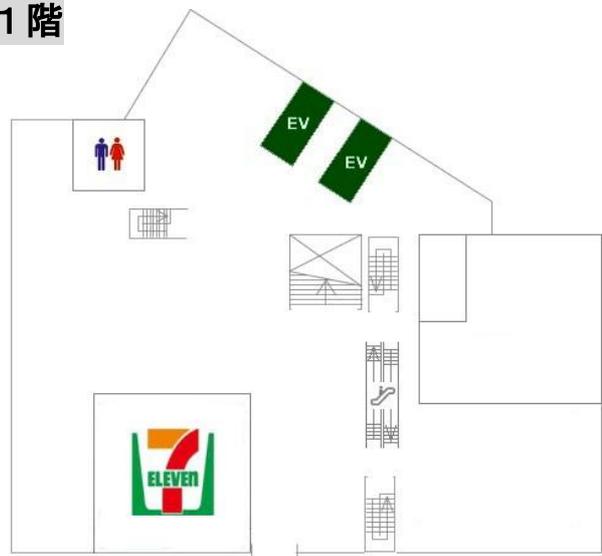
6階



4階



1階



お知らせ

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は、返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上、**5月26日(月)(必着)**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

土曜は大学の「第1食堂」が営業しており利用可能です (http://www.hosei-coop.or.jp/c_ichigaya_info.html)。日曜は大学の食堂は営業していません。外濠校舎1階のセブンイレブン、もしくはボアソナードタワー向かいのローソンで購入するなど、昼食は各自でご用意下さい。

◆懇親会の申し込み

懇親会へ参加ご希望の方は、大会当日に受付でお申し込み下さい。参加費は、一般5,000円、学生3,000円を予定しています。

◆大会予稿集の販売について

大会予稿集は、大会当日に受付にて販売します(1部2,000円)。大会前の予約・購入は受け付けていません。

◆保育室の設置

本大会では保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は、学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で、**5月20日(火)**までに保育室担当宛にメールでお申し込み下さい。

- ・利用可能時間：6月7日(土) 12:45-18:00, 6月8日(日) 9:45-17:00
- ・料金：お子様1人あたり1時間につき500円

◆車椅子の利用について

ご利用希望の方は**5月30日(金)**までにお申し込み下さい。(申込先: lsj148@yahoo.co.jp)

◆手話通訳などについて

手話通訳、ノート・テイクなどをご利用希望の方は、お早めに学会事務支局までご相談下さい。

◆書籍展示

書籍展示は、土曜が58年館6階868A, 868B, 869, 860教室、日曜が外濠校舎4階S401, S402, S403教室にて行う予定です。1日目と2日目で展示スペースが異なりますので、ご注意下さい。

◆大会予稿集、『言語研究』のバックナンバー

大会予稿集および『言語研究』のバックナンバー購入をご希望の方は、「号、購入部数、送付先」を明記の上、学会事務支局までお申し込み下さい。代金は送付時に同封される振込用紙にてご送金下さい。

また、今大会の予稿集も、残部がある場合購入していただくことが可能です(送料込みで1部2,500円)。

※在庫情報は学会ホームページをご覧ください。学会事務支局までご連絡下さい。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会、研究会、講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。(配布物は当日受付にご持参下さい。)

なお、大会第1日目(6月7日)は構内で授業が一部行われております。ご注意ください。

次回大会予告(2014年秋季大会：第149回大会)

場 所：愛媛大学城北キャンパス(〒790-8577 愛媛県松山市文京町3)

日 程：2014年11月15日(土)・16日(日)

公開シンポジウム、口頭発表、ワークショップ、ポスター発表

研究発表募集：**学会ホームページから発表申し込みができます。**

- ・発表応募締め切り **2014年8月20日(水)(必着)**
- ・採否通知 **2014年9月中旬**

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacoss.com